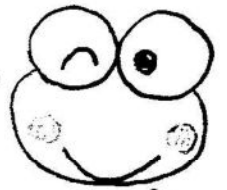


ケロケロ通信 第1号



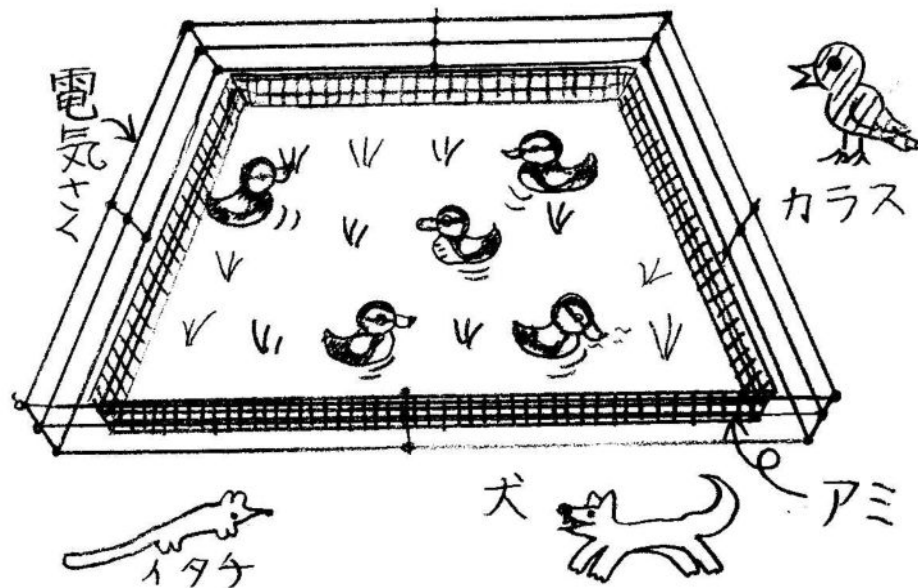
カモのヒナ、田んぼに入る♪

☆ ずっと雨が続いて、カモのヒナを田んぼに入れられなかったけど、7月9日に、1週間おくれで、やっと入れられるようになりました。生まれてから2週間くらいたっていて、100Wの電球くらいの大きさです。

ヒナを田んぼの中に入れると、小さな虫やうき草などを、頭を水の中につく、こむほとむちゅうになって食べていました。

ヒナを田んぼに入れられるようにするには、まず、ヒナが逃げ出さないように、アミをほります。その外側に、犬やイタチなどが、入ってこないように、電気さくをほります。アミほりなどに、10日間くらいかかったけれど、今年は、消費者の人にも手伝ってもらったので、とてもたあかたそうです。

ヒナを田んぼに入れる時は、田んぼ慣らしをします。初めの日、3時間くらいで家に連れて帰ったけど、何羽かつかれてびらびらになっていました。➤



◀それでも家でたくさん、水慣らしをしていったので、2日目は、みんな元気だったので、もう連日帰っていませんでした。

★ 7月18日に、最後のヒナが生まれました。こんとは生まれて2日くらいから、もう、田んぼに入れて慣らす練習を始めました。私は「まだこんなに小さいのに大丈夫かなァ」と思ったけど、田んぼに入ると何度も練習したことのあるように、スイスイと泳いでいました。前のヒナを田んぼに入れた時のように、もぐったり、とひしがたりして、とても元気がよかったです。今回は、夏休みになったので、田んぼに入れるのを、私も手伝ってります。

目をほなしたスキに、カラスから、2羽、取られてしまいました。だから今度はカラスに食べられないように、私も手伝って糸をほりました。

★ このころ、お父さん達は、毎日田んぼの草取りをしてります。この草取りが1ヶ月以上も続きます。この仕事が、お米作りの中で、一番つらい仕事だそうです。

★お父さんからの伝言板

今年も、特別栽培米の契約更新の時期がやってきました。引き続き契約もお願ひします。食糧事務所に書類を提出しますので、食糧事務所から皆さんのところに確認の電話がかかってくると思いますので、よろしくお願ひ致します。尚、変更のある方はお知らせ下さい。